

公益社団法人岐阜病院 広報誌

# まごころ

『まごころ』は、公益社団法人岐阜病院の広報誌です。



病院理念

私たちは、真心をこめて医療福祉サービスを提供します。

第14号

院長

# 新年のごあいさつ

「新しい年を迎えて」



公益社団法人 岐阜病院  
理事長・院長  
鈴木 祐一郎

明けましておめでとうございます。と、新春の言葉をまずは述べさせていた  
だきますが、これをのんびりと手放しで言うほど社会の情勢は悠長に構えている  
事を許さないようです。当院を取り巻く状況も、またやはり社会の変化によって  
大きく変わろうとしています。

そういう訳で公益社団法人岐阜病院は、いくつかの点で改革を順次進めて  
いく所存です。まずは昨年10月1日より外来院外処方を開始しました。  
現在、大きな支障もなく順調に進んでいると思います。またこの1月から、病棟  
機能の再編成と、それに伴う入院病棟の集約化を図っております。これは患者  
様への医療サービスの質をさらに向上するためです。次に従来より取り組んで  
きた精神科訪問看護を、4月頃を目途に訪問看護ステーションにして、広く地  
域のニーズに伝えていきたいと考えています。こうした何点かの改革を進める  
にあたっては、前方・後方含めた地域連携のさらなる充実が必要ですが、各  
職種の人員の再配置、集約化を行っていかねばなりません。それよりな  
により、改革の大前提として我々病院職員の意識改革こそが求められていると  
思います。

病院を外から応援して下さる皆様におかれましては、今後とも温かい目で  
見守って下さり、足らざる点をお叱りいただくようお願い申し上げます。

以上、何か気忙しいように聞こえる話をしてきましたが、そうはいっても新しい  
年を迎えて、気持ちを新たに弛んだ心を引き締めるためにも、寒い朝に何か  
前途を寿ぐ言葉を言うのも良き慣習だと思います。そこであらためて、改革する  
病院への協力をお願いしながら、「明けましておめでとうございます」と挨拶  
させていただきます。



# 「ひきこもりと精神疾患」について

1

## ■ ひきこもりとは？

ひきこもりという用語は病名ではなく、社会との関係に生じる現象の一つをおおまかにあらわしている言葉です。厚生労働科学研究によるガイドラインによると、ひきこもりは「様々な要因の結果として社会的参加(就学、就労、交遊)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態をさす現象概念である。なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低くないことに留意すべきである。」と定義されています。

2

## ■ どこに相談する？

社会参加をしていないすべての人が社会的支援や治療を必要としているわけではありませんが、当事者や家族が大きな不安を抱えるようになった事例では、その性質によって精神保健・福祉・医療の支援対象となります。専門的ひきこもり支援の場は現状では数少なく、医療機関(精神科・心療内科・小児科等)、保健機関(保健所・精神保健福祉センター・市町村の担当部門)、福祉機関(児童相談所・福祉事務所・発達障害者支援センター)、教育機関(教育センター・教育相談所・学校)、特定非営利組織(NPOなど)、就労支援機関(ハローワークなど)などが、状況に応じて多面的に支援しています。

3

## ■ 病院の役割は？

岐阜病院のような精神科医療機関においては特に統合失調症やうつ病など、見逃してはならない精神病性障害の診断と治療に取り組んでいます。例えば、以下のような症状があり、統合失調症やうつ病と診断された場合、薬物治療を中心とした専門的治療が必要になります。

### 《たとえば…》

- ぼんやりして、ふさぎこんでいる。好きなこともしなくなり、生活全般に意欲が感じられない。生きている価値がないと感じたり、死にたいと訴えたりする。
- 「悪口を言われている」「噂されている」「自分の行動について言われる」という訴えや独り言をぶつぶつと言って、誰かと話している様子から幻聴があると思われる。被害妄想を中心とした様々なタイプの妄想がある。「自分の考えが読まれている／伝わってしまう」「あやつられている」などの訴え。脈絡なくまとまらない言動がある。



## 院内のご案内

# 認定看護師

当院では、看護部方針の「より質の高い看護を提供する」ために認定看護師9名が日々の看護実践をしながら、専任活動日には各自の認定領域での活動をしています。その中で、「認知症看護認定看護師」は、認知症治療病棟で認知症の方の周辺症状の改善と退院調整を実践・指導しています。また、認知症疾患医療センターと連携し、地域の介護施設の方との事例検討会に参加し、地域連携の広がりを目指しています。さらに、地域での認知症看護や介護の研修会にも参加させていただいています。今後は、地域で暮らす認知症の方や介護の方の相談に積極的に関わっていこうと思っています。皆さま、お気軽に当院までご相談下さい。



認知症看護認定看護師 伊藤智幸



### 禁煙についてのお願い

患者さまの健康管理や周りの方々の健康管理に配慮して、平成26年4月1日より「全館禁煙」となりました。

### 名鉄岐阜駅からお越しの場合

#### 岐阜バスターミナル Dのりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 19分「日野橋」下車 徒歩10分  
日野市橋線(日野西行) 21分「日野舟伏」下車 徒歩5分

### JR岐阜駅からお越しの場合

#### JR岐阜駅 14番のりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 17分「日野橋」下車 徒歩10分  
日野市橋線(日野西行) 19分「日野舟伏」下車 徒歩5分

### 外来担当表

〈午前〉

	月	火	水	木	金
一診	淡路	石井	安楽	淡路	鈴木院長
二診	宮崎	勝	吉田	田中	安楽
三診	初診	初診	初診	初診	初診
四診	渡邊	吉田	南谷	山本	勝
五診	田中	平野	渡邊	堀部	柳澤
六診	平野	須磨	柳澤	深尾(希)	山田

〈午後〉

	月	火	水	木	金
13:00~14:00	宮崎		高岡	堀部	
14:00~15:00	宮崎			堀部	



## 公益社団法人 岐阜病院 広報誌まごころ

平成27年1月1日発行  
〒500-8211

岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号

☎058-245-8171

FAX 058-246-6824

<http://www.shadan-gifu.or.jp>

初診の予約が可能になりました。  
お電話でお問い合わせください。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。新春とは申しながら厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？ インフルエンザが流行る時期でもありますので皆様お身体には十分にお気をつけください。新たな年を迎え広報委員一同、今年もたくさんの皆様に笑顔をお届けできるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。